

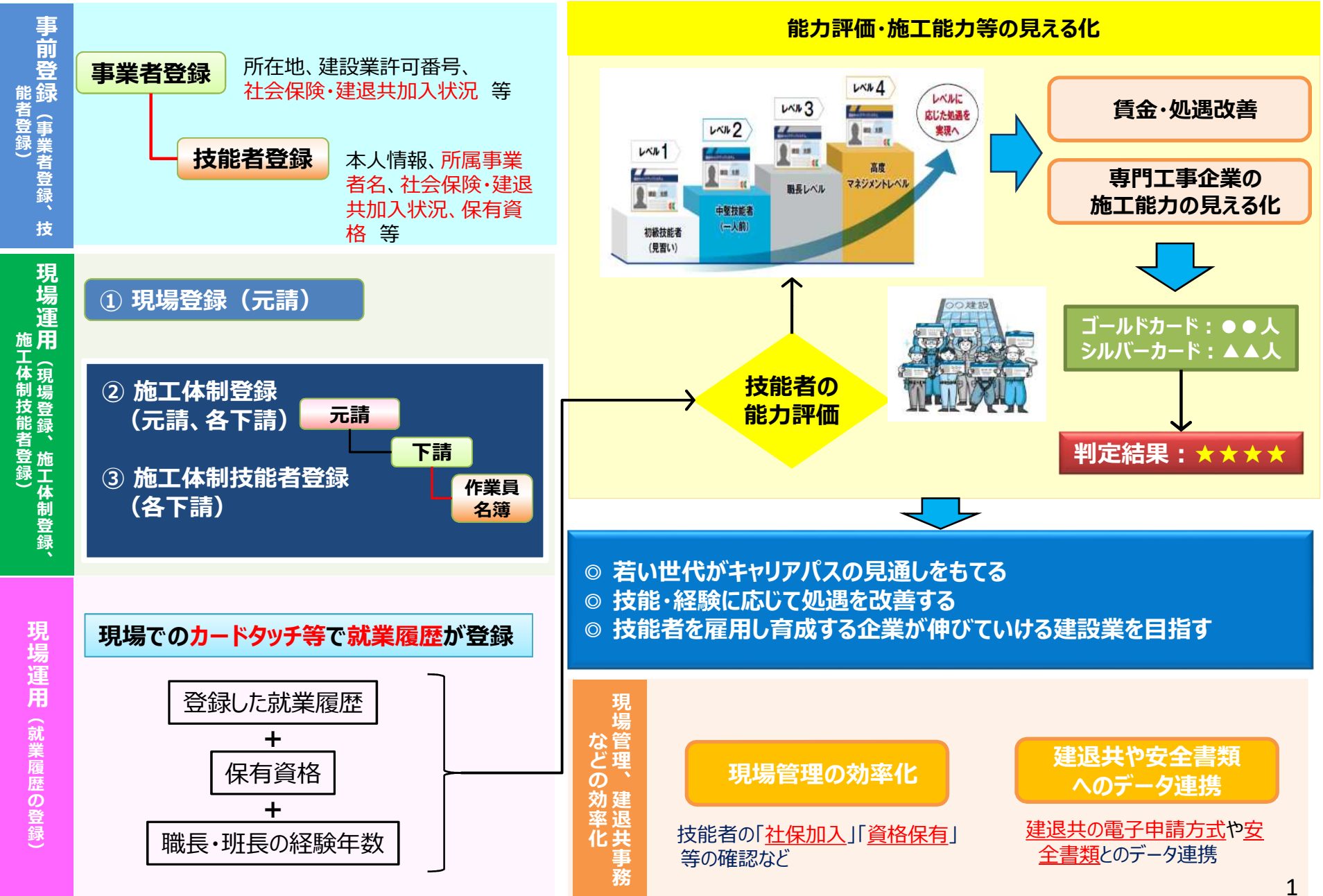
建設キャリアアップシステムの 概要・普及促進に向けた取組について

Construction Career Up System

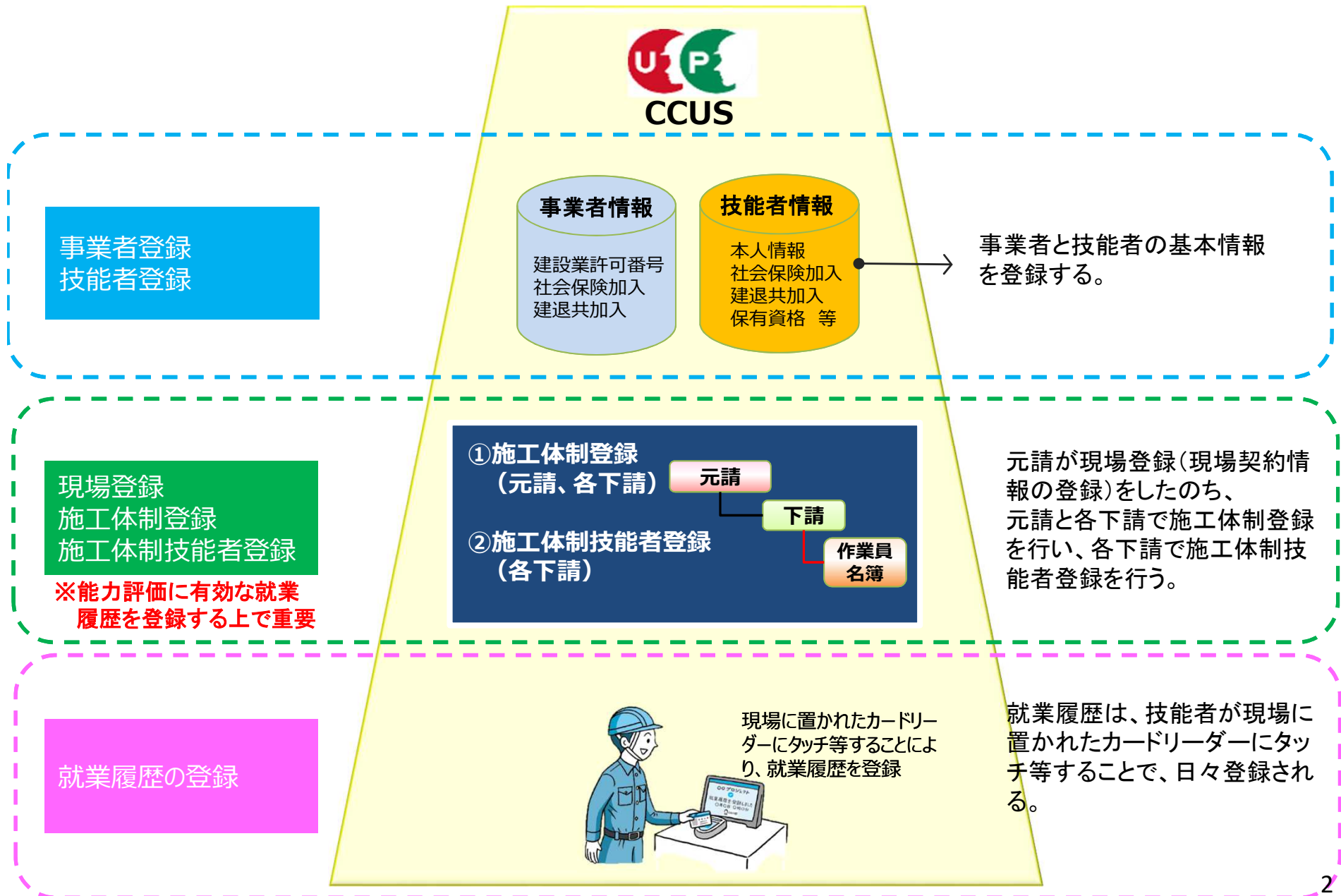


「建設キャリアアップシステム シンボルマーク」

1. 建設キャリアアップシステムの概要



2. 建設キャリアアップシステムの基本構成



3. 建設キャリアアップシステムの利用手順

事業者

技能者

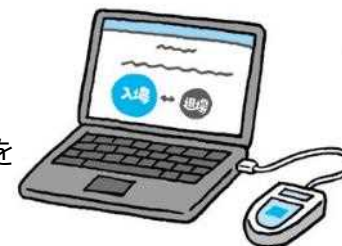
1. CCUSに登録する（事業者登録、技能者登録）



元請

2. 現場登録（現場契約情報の登録） カードリーダー等の設置

※現場ごとに現場登録を行い、カードリーダー等の就業履歴蓄積デバイスを用意

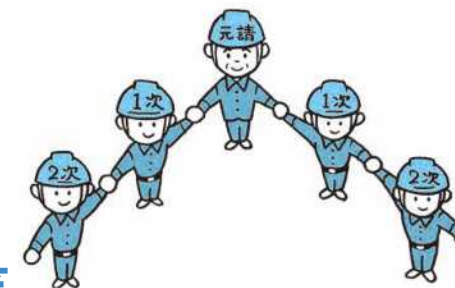


元請

下請

3. 施工体制登録、施工体制技能者登録

※現場毎ごとに、当該現場の施工に関わる事業者について施工体制登録を行い、当該現場の施工に係る技能者について施工体制技能者登録を行う。



技能者

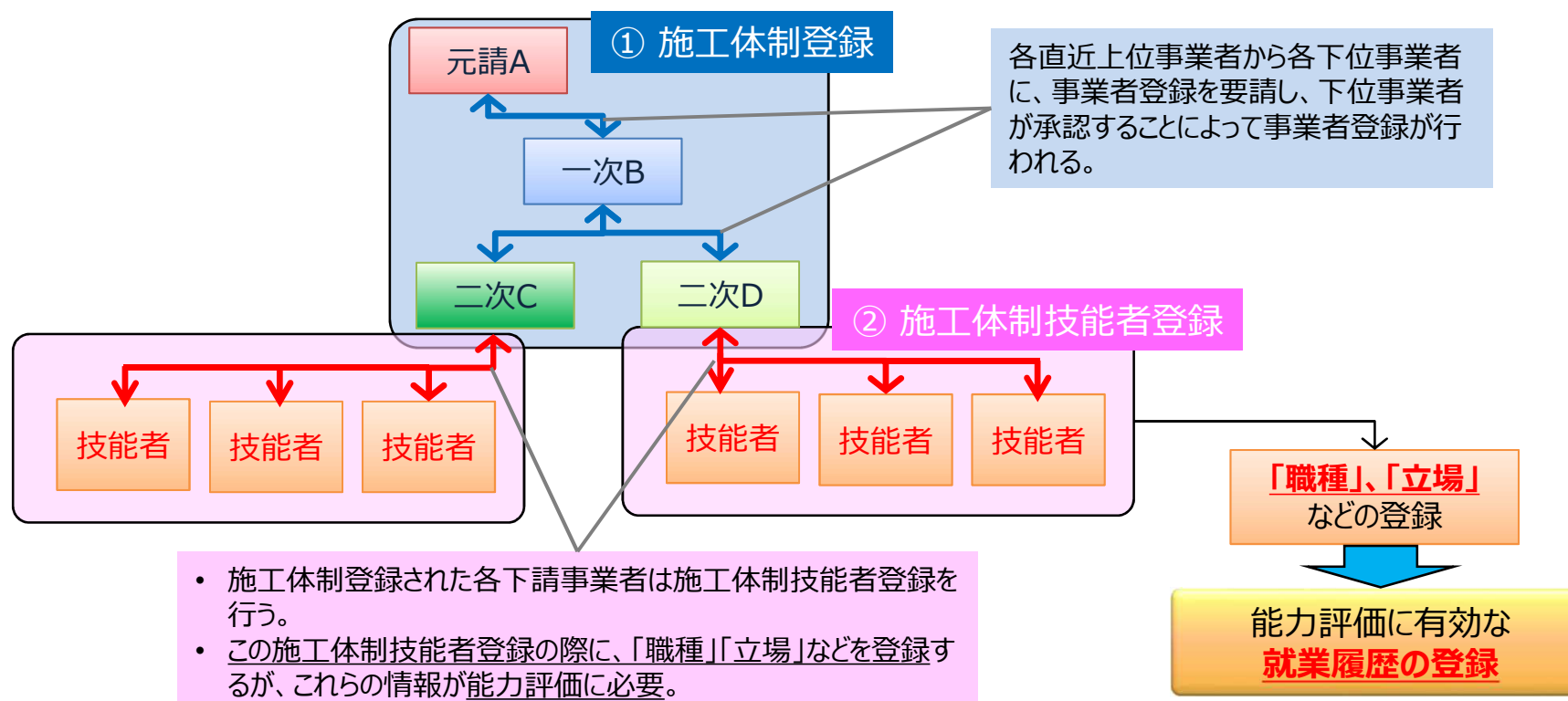
4. 現場に置かれたカードリーダーにタッチ等 することで就業履歴が登録

※就業履歴がCCUSに登録される。



4. 「施工体制登録」と「施工体制技能者登録」について

- 能力評価に有効な就業履歴を蓄積するためには、就業履歴に「職種」と「立場」の情報を付加した上でCCUSに登録することが必要。
- この「職種」と「立場」の情報は、元請事業者と下請事業者が「施工体制登録」と「施工体制技能者登録」を行うことにより就業履歴に付加されるものであるため、これらの登録がなされていない場合や登録が不十分の場合には、能力評価に有効でない状態で就業履歴がCCUSに登録されることになる。
- 技能者の能力評価制度では、「職種」に加え、職長や班長という一定の「立場」での就業履歴がレベルアップの要件とされているため、確実に「施工体制登録」、「施工体制技能者登録」を行うことが重要。



5. 建設キャリアアップシステムの普及促進に向けた主な取組

登録・現場利用に係るサポートの充実

- ① CCUSサテライト説明会などオンラインによるサポート
- ② 公共工事等におけるCCUS活用促進措置を契機とした登録・現場利用の促進
- ③ 認定登録機関・登録支援機関の増設
- ④ CCUS認定アドバイザーの育成・活用
- ⑤ CCUS登録行政書士の育成・活用
- ⑥ CCUSサポートマップの整備
- ⑦ CCUSの登録、現場利用にあたってのサポートツール一覧

登録・現場利用の幅を広げるための取組

- ⑧ CCUSカードリーダーのモニター募集
- ⑨ 小規模現場での利用促進に向けた取組
- ⑩ 建退共電子申請化とCCUSの連携
- ⑪ 公共発注者によるCCUS利用状況・週休2日達成状況確認機能(発注者支援機能)

登録・現場利用のメリットを広げるための取組

- ⑫ 元請独自ポイント制度の実証実験
- ⑬ CCUS登録技能者への特典情報の周知
- ⑭ CCUS応援自販機
- ⑮ 求人・求職活動等の場面でのメリットの創出(ハローワーク等、民間マッチングサービス)
- ⑯ 工業高校等の生徒や進路指導教諭など教育現場へのCCUSの周知

① CCUSサテライト説明会などオンラインによるサポート

- Zoomを活用したWeb説明会「CCUSサテライト説明会」を定期的を開催。CCUSの登録、現場運用に関する説明をCCUS担当者が行うとともに、質疑応答の時間も設け、参加者からの様々な質問や相談等にも対応。ホームページから誰でも申し込み可能(無料)。(～2022年12月参加者計8,641名)
- 「CCUSサテライト説明会」の内容は動画でも配信。また、資料をダウンロードすることも可能。
- YouTubeの「CCUSチャンネル」では、CCUSの操作方法等を簡単に説明した「CCUSかんたんガイド」シリーズをはじめ、「CCUS NEWS」、CCUSを活用して事業展開を図る企業を紹介する「CCUS Focus On」など様々なコンテンツを配信。



CCUS事業本部



サテライト会場
(参加者企業等)

Zoom

サテライト説明会
参加者の状況に即したメニューを用意

「CCUSかんたんガイド」シリーズ



CCUSかんたんガイド 現場運用シリーズ 「自社技能...」
CCUSかんたんガイド 現場運用シリーズ 「作業員名簿パ...

各種「CCUS解説動画」



必見！事業者⇔技能者関係付け (変更申請の方法)
建設キャリアアップシステム (CCUS) 概要

CCUS Focus On



CCUS Focus On 第3回 (一社) 職人育成塾様

CCUS NEWS



CCUS NEWS 東急建設サポートデスク109のご紹介



実績(合計)	概要説明会	事業者登録会	技能者登録会	現場運用説明会	現場サポート情報交換会	モデル工事見学会	行政書士会説明会	現場運用実践会
2021年度 59	14	5	2	23	8	7	-	-
2022年度 83	41	9	1	7	4		18	3

③ 認定登録機関・登録支援機関の増設

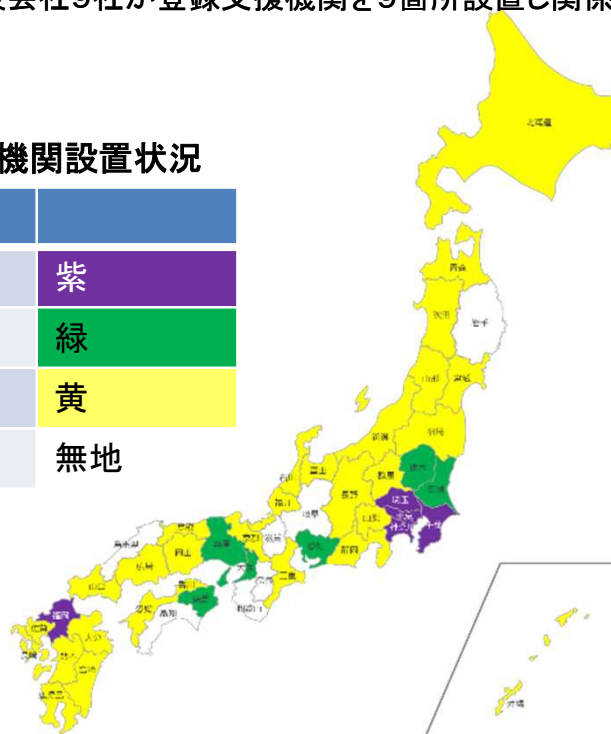
- 認定登録機関・登録支援機関は、インターネット申請が困難な利用者の利便性を確保するため、書面申請による受付・審査・システム登録までの一連の事務を行う窓口。
- 公募等により増設を図っており、12月末現在全国276箇所(準備中4箇所含む)に設置。いずれも未設置は島根県のみ。
- 定期的な公募等により空白地域の解消に努めているところ。

	箇所数(2022.12)	申請内容	対象者
認定登録機関	241(40都道府県)	事業者、技能者(詳細型)	一般
登録支援機関	35(26府県+9 ^(注))	同上(事業者のみ7箇所)	設置者の会員、取引先等

(注)大手建設会社9社が登録支援機関を9箇所設置し関係企業等の申請に対応

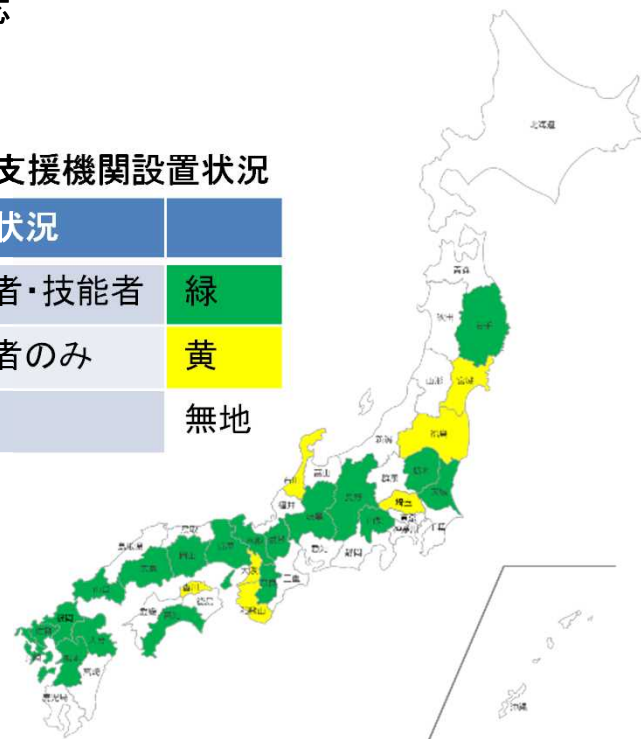
認定登録機関設置状況

箇所数	
10～	紫
3～9	緑
～2	黄
0	無地



登録支援機関設置状況

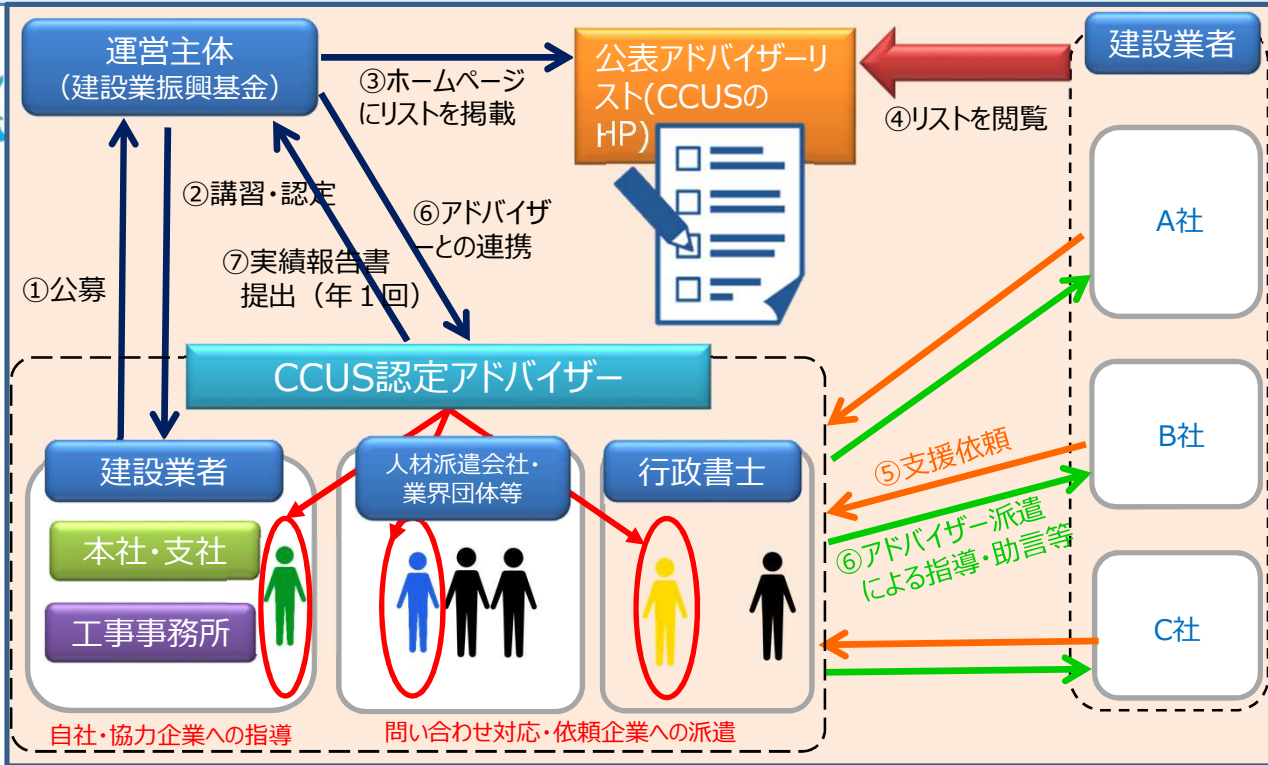
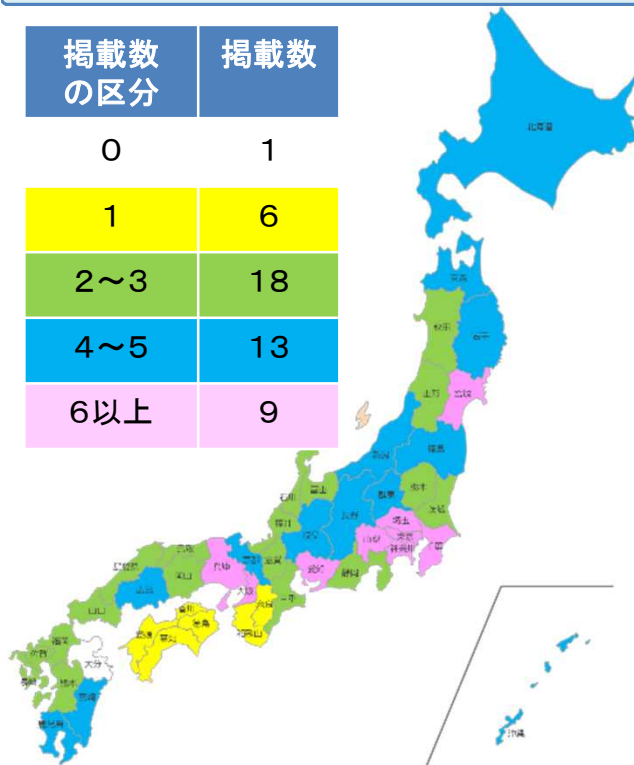
設置状況	
事業者・技能者	緑
事業者のみ	黄
無し	無地



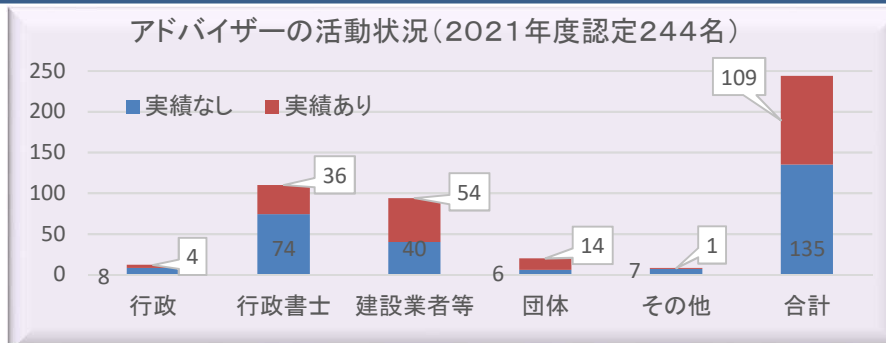
④ CCUS認定アドバイザーの育成・活用

- CCUS認定アドバイザーは、CCUSの登録、現場運用等に係る専門的知識を修得し、利用者に対する適切な指導及び助言等を行い得る者として認められた総合アドバイザー。
- 2022年12月現在322名が活動。ホームページで連絡先等を公表し、一般からの相談・問い合わせに対応するとともに、説明会や厚労省助成金を活用した団体の登録会にも対応。

掲載数の区分	掲載数
0	1
1	6
2~3	18
4~5	13
6以上	9

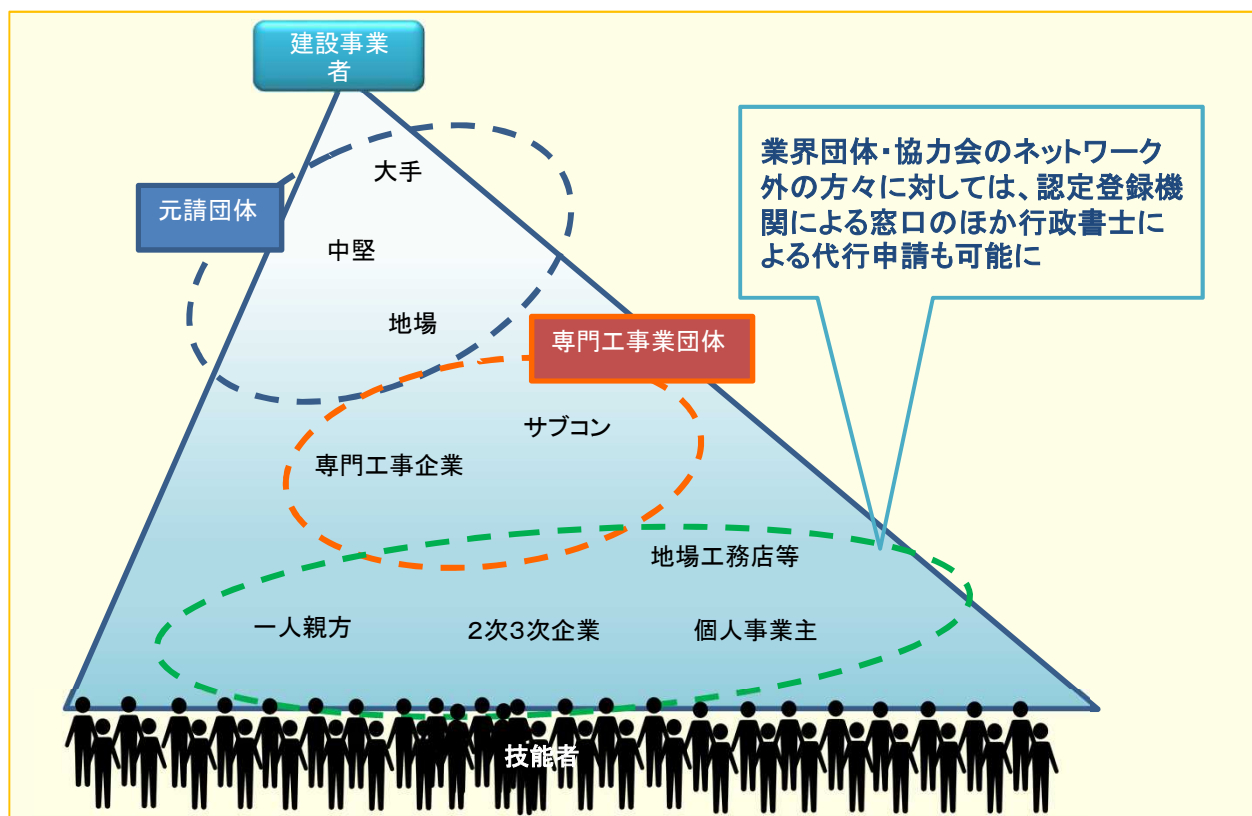


アドバイザー属性	認定数	HP掲載
行政庁	12	0
行政書士	169	147
建設業者等	110	66
団体	21	10
その他	10	6
計	322	229



⑤ CCUS登録行政書士の育成・活用

- CCUSを普及させるためには、業界団体・元請協力会等のネットワークに属さない小規模事業者の登録が必要。一方で、小規模事業者は、その企業規模等から、自ら登録申請することが困難な場合も少なくない。
- このため、小規模事業者とも接点を有する行政書士による代行申請を開始(2022年2月)。
- CCUSの実務習得のためのオンライン講習を実施し、これを受講した者を「CCUS登録行政書士」としてホームページにおいて公表、登録促進に向け選択肢を拡大。



北海道	48	滋賀県	6
青森県	7	京都府	11
岩手県	7	大阪府	60
宮城県	19	兵庫県	33
秋田県	5	奈良県	6
山形県	6	和歌山県	2
福島県	16	鳥取県	5
茨城県	15	島根県	3
栃木県	12	岡山県	11
群馬県	13	広島県	21
埼玉県	37	山口県	11
千葉県	35	徳島県	4
東京都	87	香川県	4
神奈川県	29	愛媛県	7
新潟県	7	高知県	5
富山県	3	福岡県	42
石川県	4	佐賀県	2
福井県	3	長崎県	8
山梨県	7	熊本県	12
長野県	9	大分県	6
岐阜県	9	宮崎県	7
静岡県	31	鹿児島県	10
愛知県	41	沖縄県	10
三重県	10	合計	746

(参考)

- CCUS実行政書士のID取得者数 1,168人(2022年11月末)
- 実務講習受講済者 746人(2022年12月末) → **CCUS登録行政書士**



CCUS についてもっと知りたい

建設キャリアアップシステム



で検索!

https://www.ccus.jp/

建設キャリアアップシステム

1 説明会・サポート

2 CCUSチャンネル

3 登録事業者検索

登録する
設定登録機関 (登録のできる窓口)
CCUSを使う
CCUSチャンネル
FAQ (よくあるご質問)

国土交通省ポータルサイト (外部リンク)
就業履歴登録アプリケーション
就業履歴データ登録標準API連携認定システム
各種資料
登録事業者検索

★ 不明点は、「FAQ(よくあるご質問)」の画面を開き、「キーワード検索」に知りたいことを入力して検索することができます。

Keyword検索

キーワードまたは任意で検索する(日本語半角カナ)

検索する

★ それでも解決できないときは、トップ画面の一番下にある「お問い合わせフォーム」をクリックして、メールでお問い合わせいただくこともできます。

1 CCUSに関する無料説明会をサテライトで開催しています。

CCUSサテライト説明会

2023年10月17日(水) 14:00~15:00

10/17(水) 14:00~15:00

10/17(水) 14:00~15:00

ホームページトップヘッドラインの「説明会・サポート」>「CCUSサテライト説明会」から、
▼CCUSサテライト説明会 開催スケジュール(PDF)
▼CCUSサテライト説明会 申込みフォーム(Excel)
をダウンロードしてお申込みください。

2 YouTube でCCUSに関する説明動画を公開しています。

アップロード動画 ▶ すべて再生

00:00 NEWS 実務担当者インタビュー
00:00 NEWS 各地支店インタビュー
00:00 Focus on 職人気質
00:00 Focus on 職人気質
00:00 Focus on 職人気質
00:00 NEWS 建設現場に
00:00 NEWS 建設現場に

人気のアップロード動画 ▶ すべて再生

CCUSの魅力を伝える
CCUSの魅力を伝える
CCUSの魅力を伝える
CCUSの魅力を伝える
CCUSの魅力を伝える
CCUSの魅力を伝える
CCUSの魅力を伝える
CCUSの魅力を伝える
CCUSの魅力を伝える
CCUSの魅力を伝える

3 地元業者の登録状況を検索できます。

検索条件

検索方法 必須

○名前で調べる ○所在地で調べる

所在地

事業者名

検索

事業者一覧		
事業者名	所在地	登録状況
(株) 小笠原建設	コセキタナカン	
(株) 三井田中	リンキョウタナカ	
(株) タナカ	タナカ	
(株) 田中カズ	タナカカズ	
(株) 田中建設	タナカヨウキョウ	
田中建設 (株)	タナカカンゴク	
(株) 田中建設	タナカガミ	
田中建設 (株)	タナカケンキ	
(株) 田中建設	タナカケンイヨウ	
田中建設 (株)	タナカケンコウ(カブ)	
(株) 田中建設	タナカケンセツ	
(株) 田中建設	タナカケンセツ	
(株) 田中建設工業	タナカケンセツヨウキョウ	
田中建設工業 (株)	タナカケンセツヨウキョウ	
田中建設 (株)	タナカケンセツヨウキョウ	
田中建設 (株)	タナカケンセツヨウキョウ	

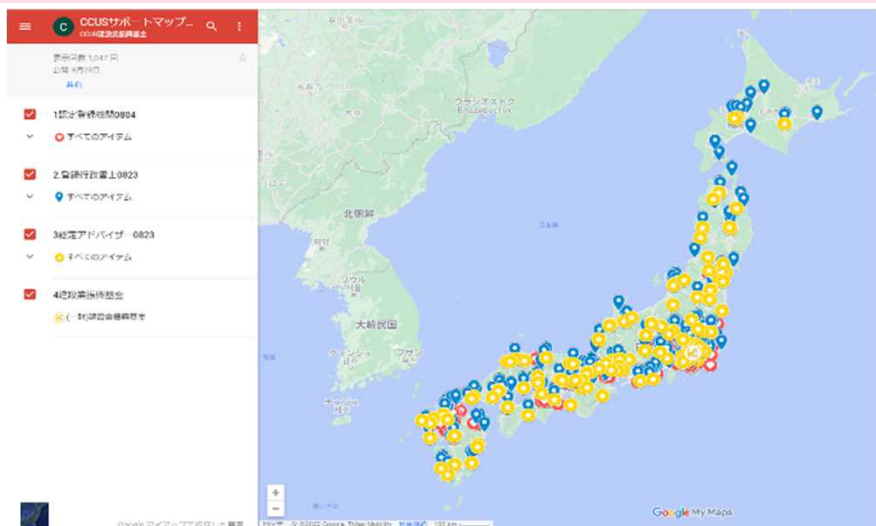
⑥ サポートマップの整備

- CCUSの登録、現場利用をサポートする、認定登録機関、CCUS認定アドバイザー、CCUS登録行政書士について、ユーザーが利用する際に、各サポート機関の名称・連絡先等を容易に検索できるよう、「サポートマップ」を整備。
- 「サポートマップ」は、地図上に、各サポート機関の名称・連絡先などを表示することにより、身近なサポート機関を容易に検索することが可能。

① 建設キャリアアップシステムのトップ画面の一番下にある「サポートマップ」のバナーをクリック。



② 「サポートマップ」に、認定登録機関、CCUS認定アドバイザー、CCUS登録行政書士が表示される。



③ サポート機関のアイコンをクリックすると、名称、住所、対応エリア、連絡先等が表示。



※地図への表記を希望しない方もいるため、全てのサポート機関を網羅しているものではないことに留意

⑦ CCUSの登録、現場利用にあたってのサポートツール一覧

- 建設キャリアアップシステムへの事業者登録、技能者登録にあたっては、「インターネット申請」と、窓口において対面で登録までの一連の手続きを行うことのできる「窓口申請」の2つの申請形式があり、それぞれに応じたサポートを用意。【別紙1、2、3、4】
- また、建設キャリアアップシステムの工事現場での利用をサポートするため、「FAQ(よくあるご質問)」を掲載しているほか、メールでの問い合わせを希望する方のために「お問い合わせメールフォーム」、YouTubeを活用した動画説明「CCUSチャンネル」、CCUS担当者から現場運用等に関する説明を受けた上で直接質問・相談をすることができる「CCUSサテライト説明会」を活用することも可能。【別紙5】

事業者登録、技能者登録 にあたってのサポート		現場利用にあたってのサポート 【別紙5】	その他
窓口申請をする場合 (認定登録機関申請) 【別紙4】	インターネット申請 をする場合 【別紙1、2、3】		
		FAQ(よくあるご質問)	
		お問い合わせメールフォーム	
		CCUSチャンネル	
		CCUSサテライト説明会	
		CCUS認定アドバイザー	
	CCUS登録行政書士		

⑧ CCUSカードリーダーのモニター募集

- 経営事項審査において就業履歴蓄積のための措置が加対象となるなど、CCUSの一層の普及促進に向けた取組が進展。
- これを踏まえ、就業履歴の蓄積促進に向けた環境整備の一環として、新規に事業者登録を行い、現場にカードリーダーを設置する元請事業者を対象に、カードリーダー(1台)を無償貸与するカードリーダーのモニター募集を開始(2022年12月~2023年3月)。また併せて、希望する建設業団体に対して、貸出用のカードリーダー(上限10台)の貸与を開始。
- これにより、課題となっている地方や中小規模事業者の登録促進・就業履歴の蓄積推進に寄与。

募集要項

対象企業 : 下記募集期間内に新規に事業者登録を行い、かつ、現場登録を行った元請事業者

募集期間 : 2022年12月1日~2023年3月20日

募集数 : 2000社

内容 : カードリーダー1台を無償貸与(モニター後の返却不要)

カードリーダーの種類 : (申し込み時に①又は②のうち1台を選択)

- ①Windowsパソコン活用型 700台
- ②iPhone/iPad活用型・ロギング機能活用型 1,300台

モニター条件 : 後日、カードリーダー利用に関するアンケート調査にご協力いただけること

更なる事業者の登録と現場利用の促進を支援



1台無償貸与

- ・新規事業者申請
- ・現場情報を登録

現場にカードリーダーを設置

技能者が現場で就業履歴を蓄積



①BNR01NF



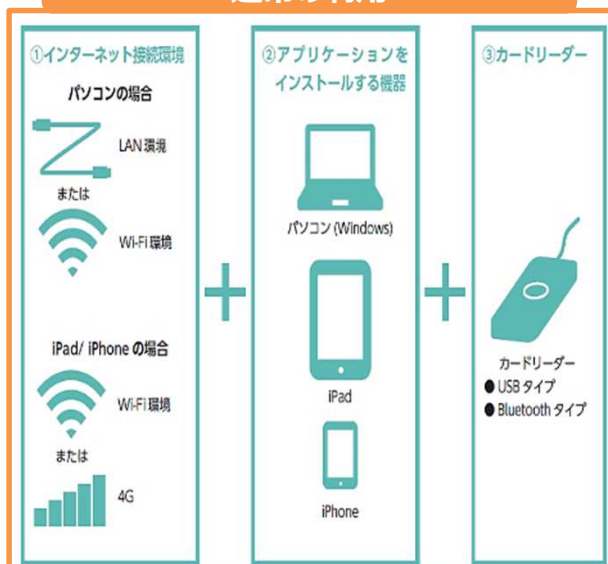
②Dragon_BLE

- 入退場管理デバイスとして、建レコを利用する場合、現場で以下①～③の機器・環境が必要。
 - ① インターネット接続環境
 - ② 建レコをインストールしたパソコン(Windows)/iPad/iPhone
 - ③ カードリーダー
- ただし、インターネットに接続できない現場であっても、オフラインログイン機能を利用することで、就業履歴の登録を行うことが可能。(オフラインログイン機能により建レコに蓄積された就業履歴は、インターネットに接続できる状況になったときに、自動送信又は手動一括送信により、CCUSに送信・登録される。)
- さらに、**小規模現場での利用促進等**を図る観点から、パソコン/iPad/iPhoneを設置できない現場であっても、**カードリーダーだけで就業履歴の登録が可能となるログイン機能**を新規開発。(ログイン機能によりカードリーダーに蓄積された就業履歴は、後に事務所等において、建レコをインストールしたパソコンに接続することにより、CCUSに送信・登録される。)

現場に必要な機器・環境

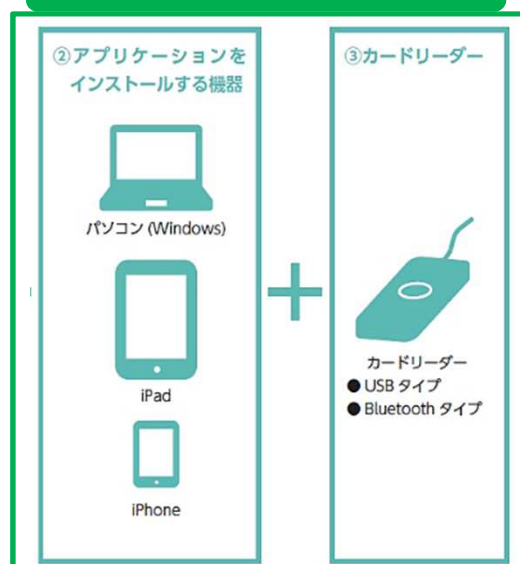
インターネット接続がある場合

通常の利用



インターネット接続がない場合

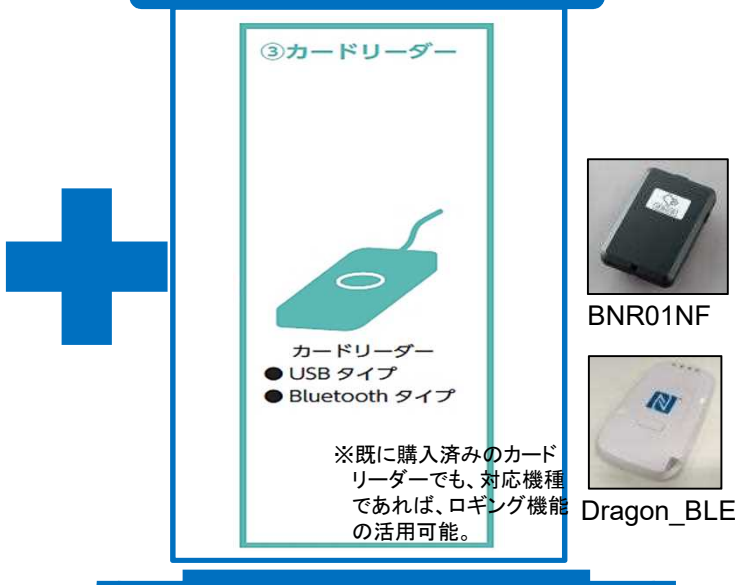
オフラインログイン機能の利用



新機能

インターネット接続**不要**
パソコン/iPad/iPhone**不要**

ログイン機能の利用



小規模現場での利用促進、現場利用に係る負担の軽減

⑨ 小規模現場での利用促進に向けた取組

- 国土交通省において、中小ゼネコンや工務店等の小規模現場でカードリーダーを使わずに就業履歴を蓄積するデバイス(電話発信方式、顔認証方式)の実証実験を実施(2020年12月～)。
- さらに、2021年度に国土交通省の補助金を活用して、住宅等の小規模な現場において国土交通省が実証実験を行ったデバイスの利用を支援(2021年5月～ :参加事業者50社、93現場)。

小規模現場における電話発信方式、顔認証方式での就業履歴の蓄積

携帯電話の発信や顔認証により、カードリーダーがなくても就業履歴を蓄積(2021年10月から提供開始)。



国土交通省の実証実験の結果

- 期間:2020年12月21日～2021年7月31日
- 参加モニター:事業者30社

※アンケート結果

- ・カードリーダーで運用しにくい現場がある 88.9%
- ・**カードリーダーの適さない現場に電話発信は適している 72.2%**
- ・カードリーダーの適さない現場に顔認証は適している 64.7%

補助金を活用した小規模現場での利用促進に向けた取組(2021年度)

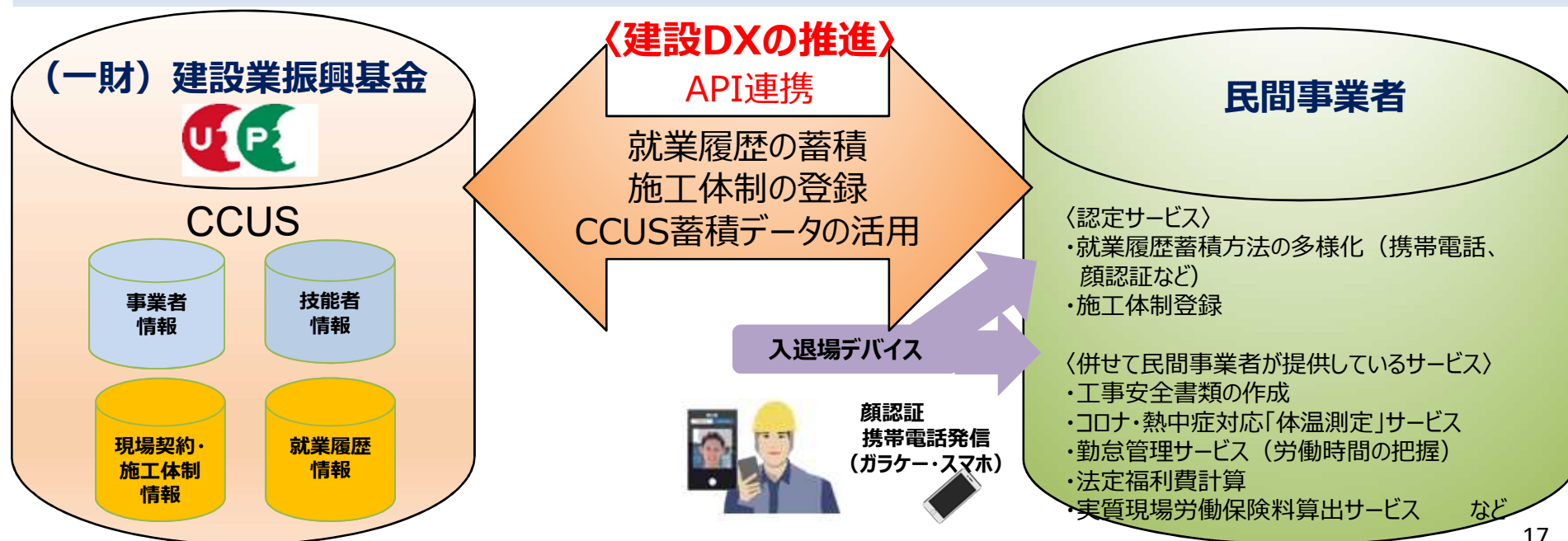
参加事業者50社、93現場

大半は住宅、現場開設期間は30日以下が55%

※アンケート結果

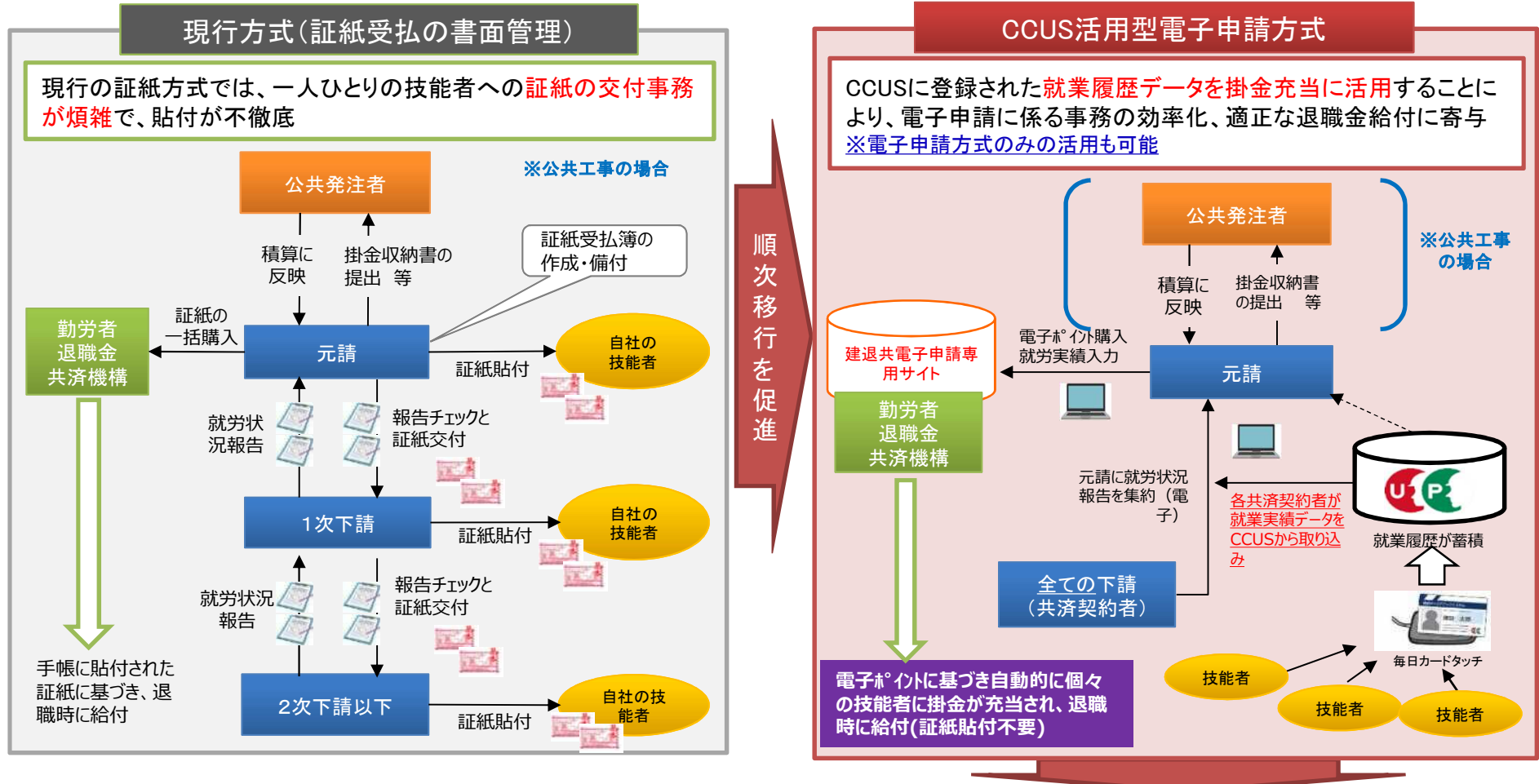
- ・就業履歴を記録する上でシステムは**簡単に使えた 63%**
- ・**今後も使ってみようと思う 66%**
- ・うち、年間5万円以下ならば使うことを検討したい 61%

- 建設キャリアアップシステム (CCUS) では、民間の事業者の提供する入退場管理システム、安全衛生管理システム等とAPI連携※を進めているところ。⇒ 就業履歴データ登録標準API連携認定システム(CCUS認定システム)
 - ※API : Application Programming Interfaceの略。API連携により異なるソフトウェア、サービス間で認証機能等を共有できる
- CCUS認定システムの運営主体は、2022年11月現在、10社 (11システム) を認定
 - 〈認定サービス〉
 - ・ 就業履歴蓄積方法の多様化 (携帯電話発信 (ガラケー・スマホ)、QRコードリーダー、顔認証、静脈認証等など)
 - 〈上記サービスに併せて民間事業者が提供しているサービス〉
 - ・ 工事安全書類の作成、コロナ対応や熱中症対策等の体温測定・健康把握サービス、入退場時間の管理による勤怠管理サービス、法定福利費計算サービス、実質現場労災保険料算出サービス など
- 現在、さらに、様々な分野、多くの新規企業 (大手携帯電話事業者、事務機メーカー、建設機材等レンタル会社、求人サイト運営会社、建設経理システム開発会社等) から、連携についての相談をいただいているところ。



⑩ 建退共電子申請化とCCUSの連携

- 2021年度より、建退共制度の事務の効率化及び適正履行等を確保する観点から、建退共の電子申請方式が導入（あわせて、技能者がCCUSに登録した就業履歴データの電子申請方式への活用を可能とする「CCUS活用電子申請方式」が導入）。
- CCUSに登録された就業履歴データを活用することにより、建退共の電子申請に係る事務の効率化、適正な退職金給付に寄与。



電子申請に係る事務とCCUSの就業履歴登録のための手順の双方を一層効率化する観点から、さらに機能を追加
 ⇒「元請一括方式」・「一次下請一括方式」と「R方式」



■ 建退共電子申請とは

「**電子申請方式**」とは、これまでの「証紙貼付方式」と異なり、証紙に代わり退職金ポイント（電子掛金）による掛金納付を可能とするものです。

退職金ポイントは、予め事業者がペイジーまたは口座振替により購入したうえで、就労実績に応じて原則、月単位で掛金を納付するものです。

詳細は、[建退共ホームページ 電子申請方式について](#)をご参照ください。

■ 建設キャリアアップシステムのデータ連携とは

・ 下請個別作業方式（2021年度より供用）

「下請個別作業方式」とは、個々の下請事業者が建設キャリアアップシステム（CCUS）に蓄積された就業履歴をダウンロードし、就労実績報告作成ツール（就労ツール）を通じて上位事業者に就労実績を報告することで、最終的に元請事業者に就労実績が集約されますので、一括して建退共の掛金納付を可能とするものです。

・ 一括作業方式（2022年8月より供用）

「一括作業方式」（①元請一括作業方式・②一次下請一括作業方式）とは、下請個別作業方式における個々の下請事業者の作業を元請事業者および一次事業者が一括して行うことにより、建退共の電子申請の一層の効率化、利用促進を図ることを目的とした新しい仕組みです。本方式では、元請事業者または元請事業者と一次事業者がCCUSより就業履歴等をダウンロードし、就労ツールを通じて作成した就労実績を活用して、建退共の掛金納付を可能とするものです。

① 元請一括作業方式

元請事業者が就業履歴をCCUSから一括してダウンロードし、就労ツールに取込する方法です。

② 一次下請一括作業方式

各一次事業者が傘下の下請事業者の就業履歴をCCUSから一括してダウンロードし、就労ツールに取込したデータを元請事業者に報告する方法です。

※ R方式（一覧データ登録方式）（2022年9月より供用）について

建退共電子申請とCCUSのデータ連携には、上記の一括作業方式のほか、建退共電子申請の就労実績をCCUS就業履歴の登録に活用する方法「**R方式（一覧データ登録方式）**」があります。

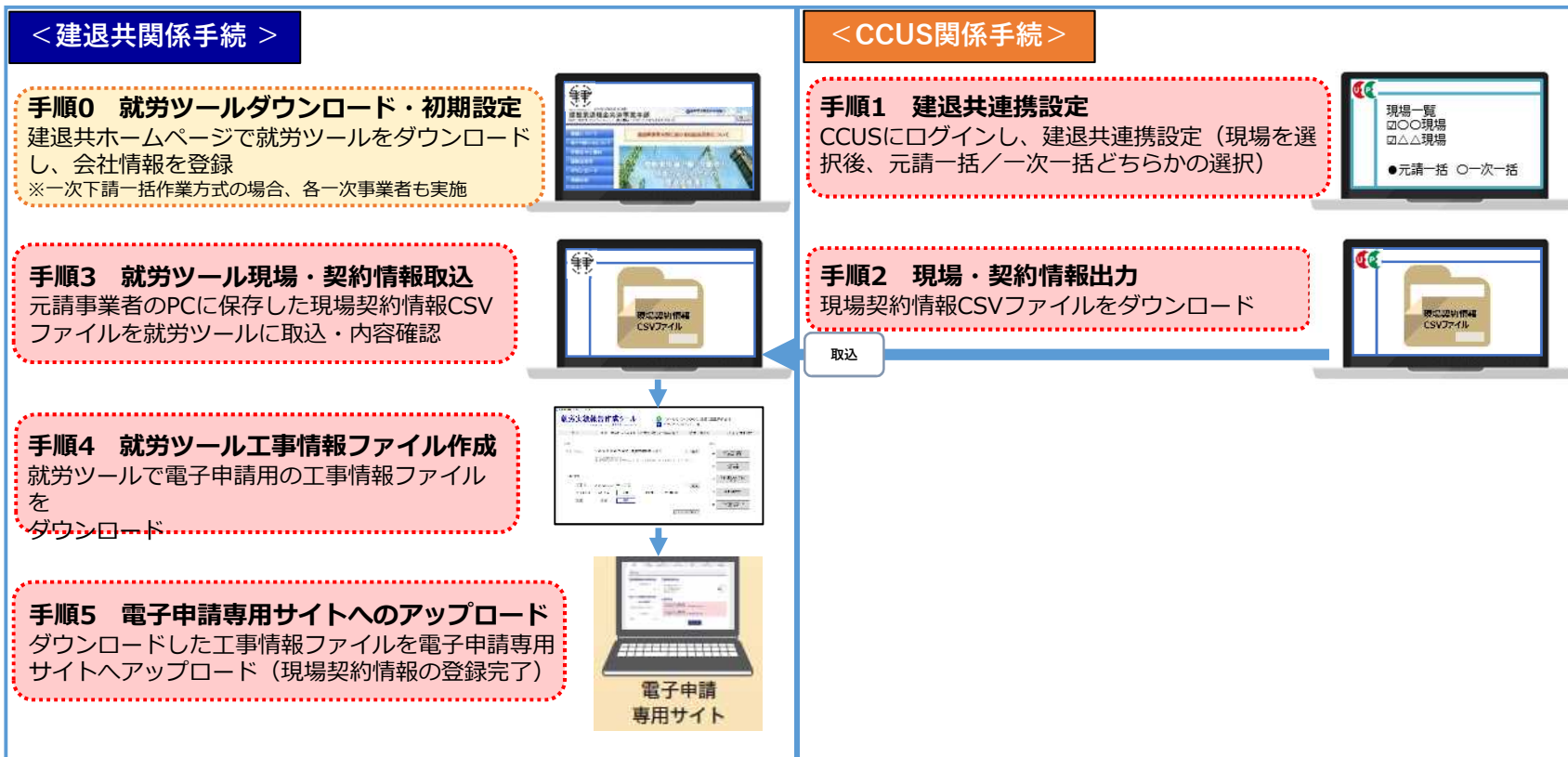
1. 工事契約締結後の手続（元請一括作業方式・一次下請一括作業方式共通）

CCUSに一括作業方式現場として登録、建退共への現場契約情報の登録

※公共工事では、契約後40日以内(電子申請方式の場合)に発注者に掛金収納書の提出が義務付けられているため契約に応じた所定の退職金ポイントを事前に購入する必要があります。
 なお、一括作業方式の場合、原則、元請事業者が退職金ポイントを事前に購入することを前提としています。

元請事業者が、以下の手続を実施（手順0～5）

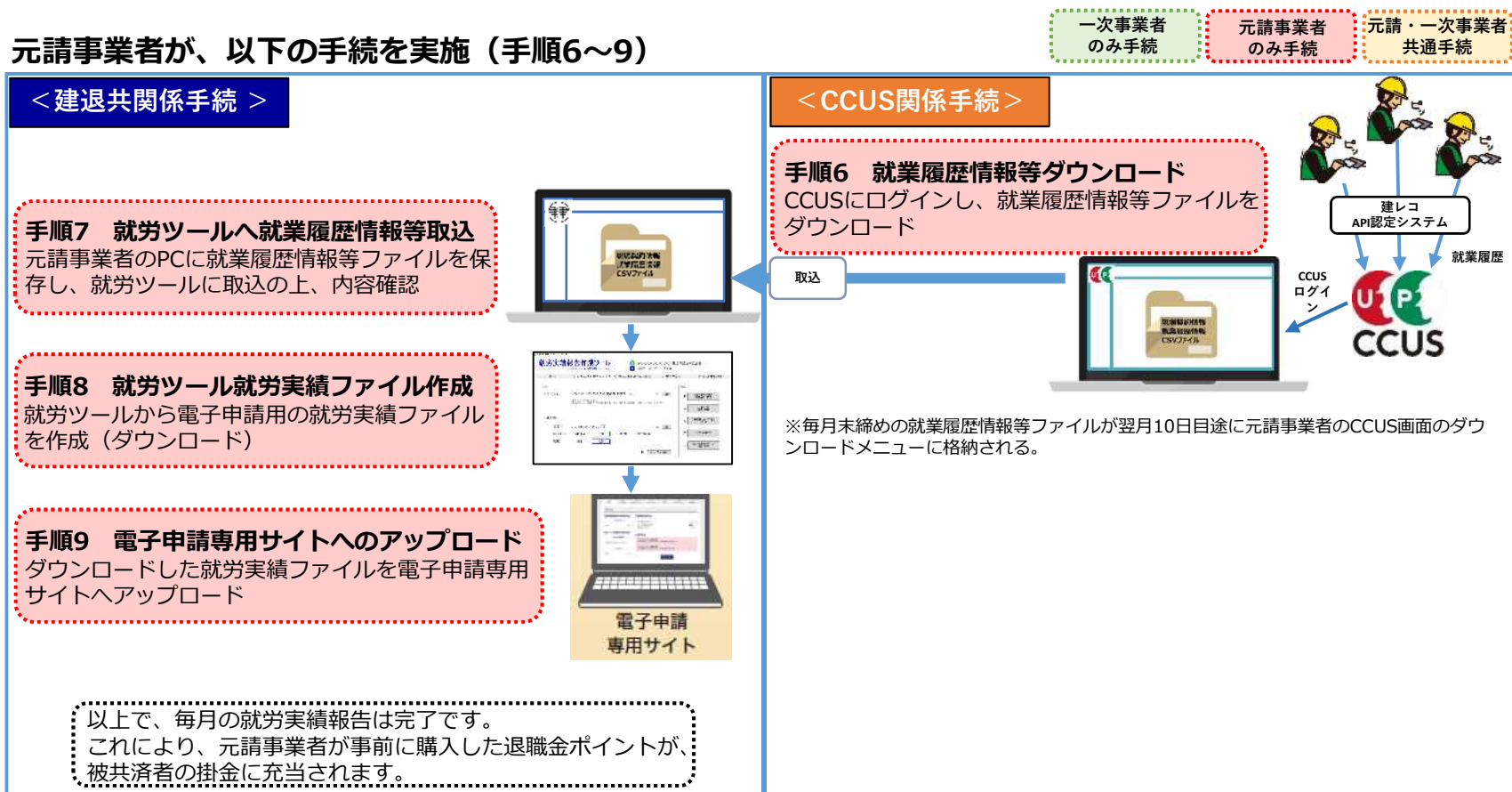
一次事業者のみ手続
 元請事業者のみ手続
 元請・一次事業者共通手続



2-1. 原則、毎月の手続（元請一括作業方式の場合）

CCUS就業履歴を活用した建退共へのデータ連携

元請事業者が、以下の手続を実施（手順6～9）

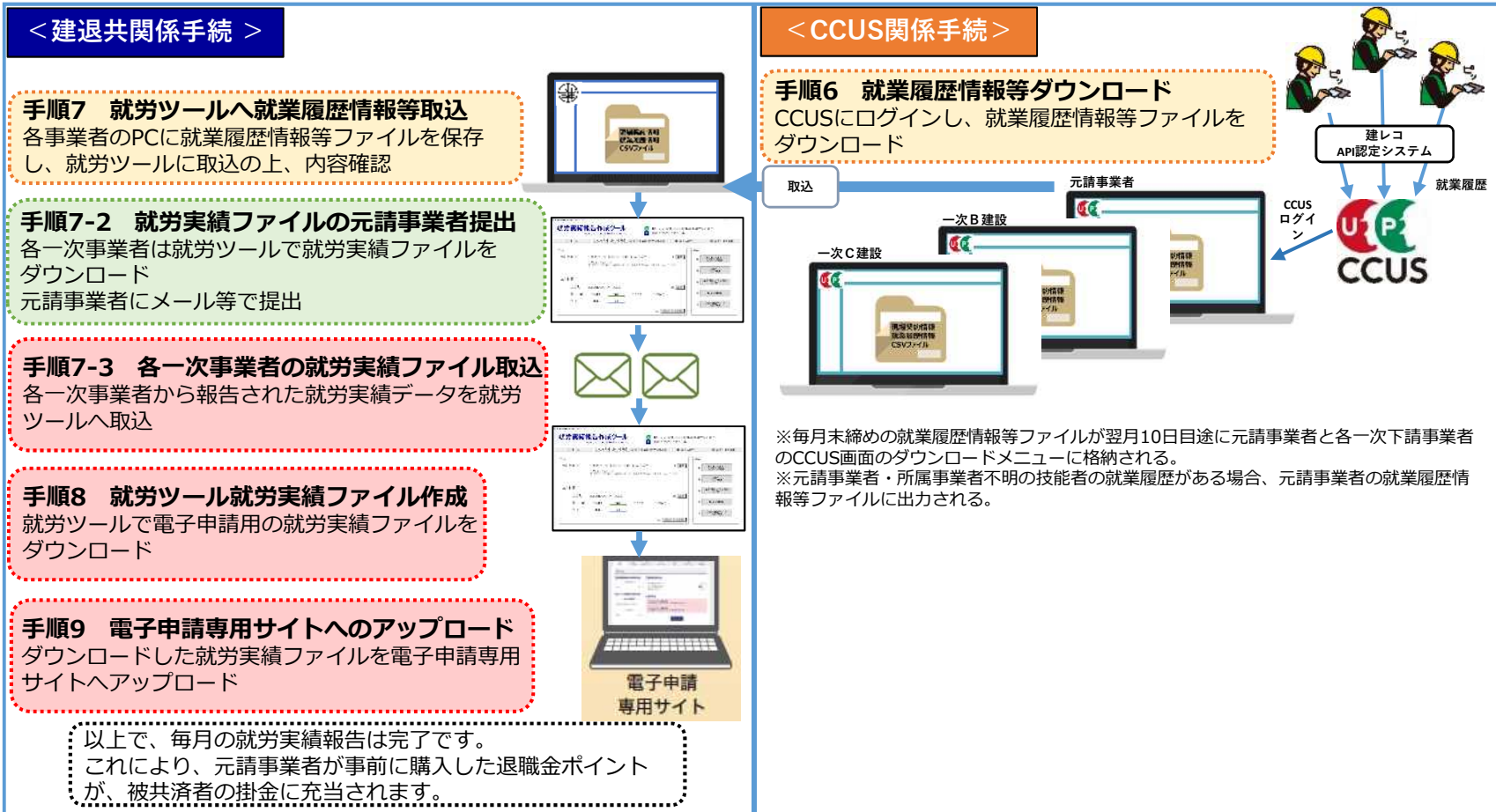


2-2. 原則、毎月の手続（一次下請一括作業方式の場合）

CCUS就業履歴を活用した建退共へのデータ連携

元請事業者と各一次事業者が、以下の手続を実施（手順6～9）

一次事業者のみ手続
元請事業者のみ手続
元請・一次事業者共通手続



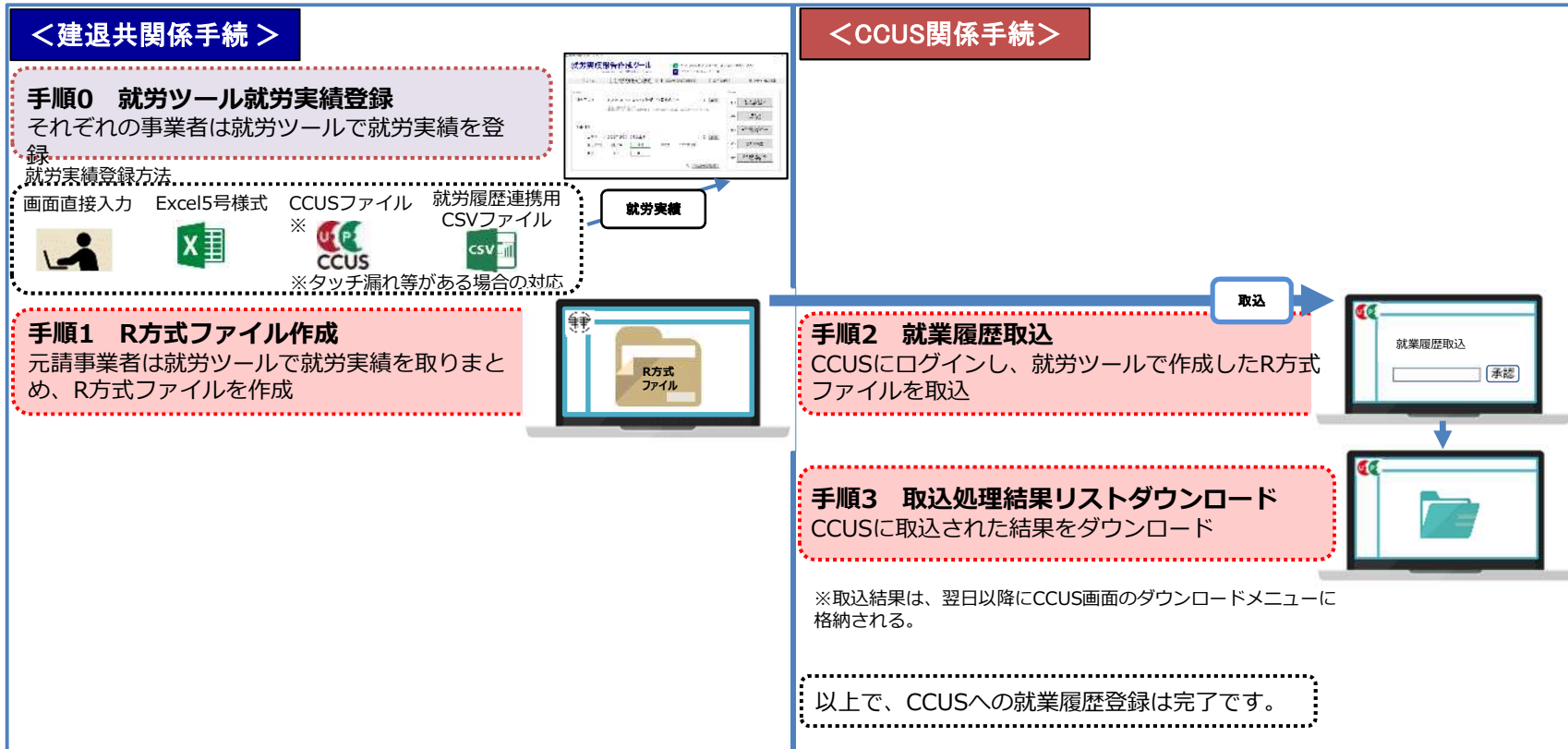
■ R方式（一覧データ登録方式）とは

建退共の電子申請を実施している元請事業者が、現場にカードリーダーが設置されていない、タッチ漏れなどの理由によりCCUSに登録されていない就業履歴がある場合に、当該就業履歴を建退共の電子申請により作成された就労実績を活用して、CCUSに登録するための機能です。

元請事業者と下請事業者が、以下の手順を実施（手順0～3）

元請事業者のみ
の手続

元請・下請事業者
共通手続



⑪ 公共発注者によるCCUS利用状況・週休2日達成状況確認機能(発注者支援機能)

公共発注者によるCCUS利用状況・週休2日達成状況確認機能(発注者支援機能)は、公共発注者と元請事業者とのCCUSモデル工事等に係る契約に基づき、元請事業者が発注者に対して、当該現場のCCUS利用状況等の報告をする機能。

元請事業者はCCUS上でこの機能の設定を行うことにより、公共発注者がCCUSより当該現場の情報(「CCUS利用状況」「週休2日達成状況」「安全書類」)をExcelファイル又はCSVファイルにてダウンロードすることが可能となる。12月上旬に機能をリリース。

<公共発注者が確認できる情報>

【1. CCUS利用状況】

- ① 平均就業履歴蓄積率の算出
- ② 平均登録事業者率の算出
- ③ 事業者一覧
- ④ 平均登録技能者率の算出
- ⑤ 技能者一覧
- ⑥ レベル別・職種別の算出(就業日数)
- ⑦ レベル別・分野別の算出(就業日数)

※公共発注者は、①～⑤を集計するためには、以下のとおり、別途、各情報の入力が必要です。
 ②～⑤：計測日、①：対象期間中の全技能者数
 ②：計測日の全下請事業者数
 ④：計測日の全技能者数

【2. 週休2日達成状況】

- ⑧ 現場閉所率の算出
- ⑨ 平均就業日数の算出
 当該現場(自現場)のみまたは、
 当該現場+当該現場以外の現場
 (自現場+他現場)

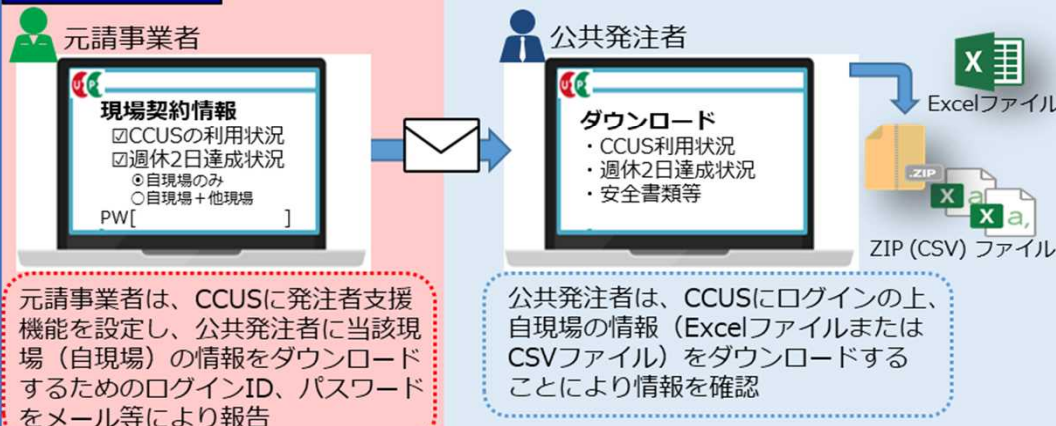
※⑨で他現場に係る就業履歴も対象とするためには、元請事業者は各事業者の同意を得てCCUSに登録する必要があります。

【3. 安全書類等】

- ⑩ 施工体制台帳
- ⑪ 作業員名簿
- ⑫ 施工体系図
- ⑬ 下請負業者編成表
- ⑭ 再下請負通知書
- ⑮ 社会保険加入状況

※⑩～⑮は、CCUSの既存機能を活用するものであるため、必ずしも当該書類の必要事項の全てが記載されているものではありません。

<操作手順>



<公共発注者によるダウンロード可能時期>

【CCUS利用状況】(CSVファイル)

- ① ⇒ 当月分を翌月中旬～
- ②～⑤ ⇒ 計測日の翌週中～
- ⑥、⑦ ⇒ 竣工後の翌月中旬～
 (就業履歴蓄積期間 終了日)

【週休2日達成状況】(CSVファイル)

- ⑧～⑨ ⇒ 当月分を翌月中旬～

【安全書類等】(Excelファイル)

- ⑩～⑮ ⇒ 随時

※CSVファイルはCCUSが提供するExcelファイルに取り込むことにより、帳票形式で活用可能

⑫ 元請独自ポイント制度の実証実験

- 2021年度に、CCUSの就業履歴をベースポイントとして、元請事業者が一斉清掃など独自にポイントの対象となるイベント(日常現場活動)を設定の上、当該イベントに参加したCCUS登録技能者に独自にポイントを付与し、両ポイントの合計が所定の目標値をクリアすると、コンビニ等で使える電子マネーを技能者に還元する実証実験を実施。(実証実験SEASON1)
- 2022年度は、SEASON1の検証結果を踏まえ、イベントやポイント管理等の現場負担を軽減するとともに、クオカードを現物支給する等の改善策を講じた実証実験SEASON2を実施。(2022年7月~9月)

SEASON 1 検証結果

SEASON 2 のスキーム概要

顕在化した課題

改善の方向性

改善策

イベントやポイントの管理など負担が大きい

現場負担を最小限とする管理ツールを導入

溜めたポイントは自由に使いたい

ポイント還元方法の見直し

建レコに、CCUSカードでタッチすると、ポイントを付与



イベント用カードリーダー⇒



←参加者登録用カードリーダー

クオカードを現物支給

カラダライブ by FPM



目標ポイント達成



頑張った技能者に直接ポイントを選元



実証実験SEASON 2 の模様

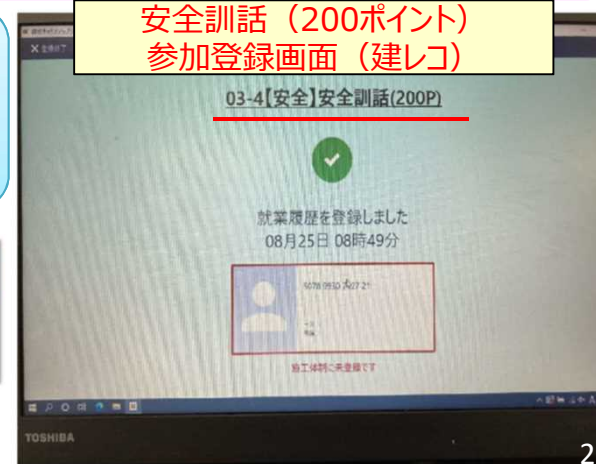


手元の建レコで、ポイント対象のイベントを切り替えるだけのため、イベントやポイント管理等の現場負担が軽減



イベント用カードリーダー：iPhone + Bluetooth接続のカードリーダー

安全訓話 (200ポイント)
参加登録画面 (建レコ)



13 CCUS登録技能者への特典情報の周知

- CCUSの技能者登録数が100万人を突破するなど、CCUSの認知度の高まりを背景として、民間事業者からCCUS登録技能者に対して特典を提供したいという声が寄せられている。
- こうした特典情報を広く周知し、多くの技能者の方々が特典を享受できるよう、一定の基準を満たす特典提供の申し出について、CCUS登録技能者全員に直接情報提供するとともに、2022年8月よりHP等において順次紹介・掲載。2022年11月末現在34社の特典情報を掲載。

特典の例

- **CCUS登録技能者を対象とする割引サービス**
 - ✓ 資格取得講座費用の割引(最大3万円割引)
 - ✓ カーリース契約でのキャッシュバック(最大15万円分商品券)
 - ✓ レンタカー利用時の割引
- **ECサイトにおける割引・ポイント付与**
 - ✓ 電動工具ECサイト登録時に500pt(500円相当)、誕生日に200pt(200円相当)進呈)
- **地域における特典**
 - ✓ ワークマンプラス、飲食店
 - ✓ 各種コンサルティングサービス

情報はホームページ下部のバナーから



提携サービスマップ(イメージ)



ホーム > CCUS登録技能者特典

特典の詳細い内容は企業ロゴ又は特典内容はこちらをクリック

スキルアップ・資格取得 TAC 知の世紀を拓く	カーリース 新しいクルマの持ち方 MS&A INSURANCE GROUP あいおいニッセイ同和損保	販売サービス ・ワークマンプラス 松江店 ・ワークマンプラス 鳥津店 特典内容はこちら	期間限定特典 準備中
ECサイト・ネットサービス BILDY.jp プロの現場を応援します。	相談・コンサルティング ・山田土地建物 (株) ・商業士行政書士事務所 ・行政書士・士人たに法律事務所 ・行政書士・士人たに法律事務所 ・ドレミング東京 特典内容はこちら	飲食サービス ・Bar.t. 曲舞 ・鉄板焼 工キ ・魚家 庵 特典内容はこちら	店舗前への参加はこちら ・CCUSの推進について ・実施要項 ・特典提供登録シート

- CCUS登録技能者への直接メリットの提供、CCUS未登録技能者の登録促進等を図る観点から、CCUS登録技能者がCCUSカードで自動販売機にタッチすると、飲料を無料で提供する機能を持つ「CCUS応援自販機」の第1号機を8月下旬に建設現場に設置。
- 「CCUS応援自販機」は、サントリーが同社の独自システムを活用し、開発。
- 無料で提供する飲料費は元請負担となるものの、「CCUS応援自販機」により元請事業者は建設現場で働く技能者に直接メリットを提供することが可能。
- 無料で提供する本数、期間等を設定するだけで、「CCUS応援自販機」を即現場で利用することが可能。
- この取組を「CCUS応援自販機」と名付け、様々な建設会社での展開を図っているところ。

設置目的

- CCUS登録技能者への直接メリットの提供
- CCUS未登録技能者の登録促進
- カードタッチ率の向上



CCUS応援自販機の概要

- サントリーの独自システムを活用し、自動販売機がCCUSカードを判別して、飲料を提供する仕組み。
- 無料で提供する本数、期間等を設定するだけで、「CCUS応援自販機」を即現場で利用することが可能。



⑮ 求人・求職活動等の場面でのメリット創出(ハローワーク等)

厚生労働省と連携し、全国のハローワークや公共職業能力開発施設において以下の取組を実施(2021年7月30日～)

- ①建設業への入転職を目指す求職者に対し、CCUS登録企業への応募勧奨
- ②技能者の求人を行うCCUS登録済みの建設事業主(求人者)に対し、求人票の作成支援

【求職者にとってのメリット】

- CCUS登録企業であることで、技能者の適正な評価や魅力ある労働環境づくりに取り組む企業と判断するのに役立ち、企業選択に活用できる。
- ⇒長期にわたって働き続けられる企業を選択しやすくなる

【専門工事業者等、求人者にとってのメリット】

- ハローワークにおいて求職者への応募勧奨を受けることが可能となることに加え、求人票の「求人に関する特記事項」欄にCCUSに係る取組を記載することが可能。

(記載例)

建設キャリアアップシステム登録事業者です。
施工能力等の見える化評価制度で「☆4つ」取得しています。

- ⇒求職者に対する発信力を高めることで、担い手を確保することができる

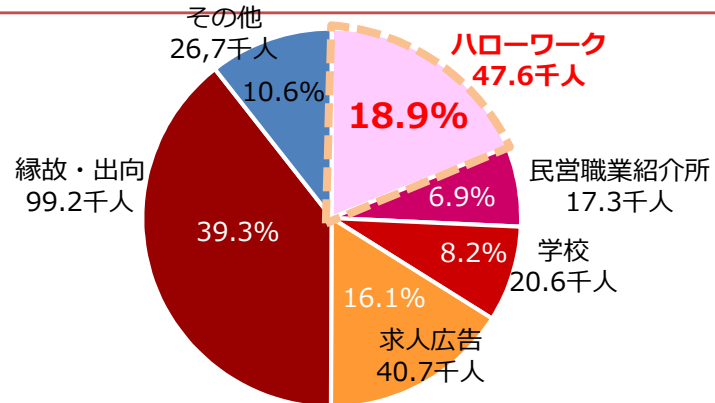
【建設事業主向けリーフレット】

従業員を採用したい建設事業者の皆さま
UP CCUS 建設キャリアアップシステム
の登録はお済みですか?
建設現場で働く若手が求めることトップ3
第1位 週休2日制の推進
第2位 仕事が年間を通じてあること
第3位 能力や資格を反映した賃金
建設キャリアアップシステム(CCUS)は
✓ 職人の適正な評価と給与の引上げ
✓ 職人を育てる企業が評価され、
受注機会が確保される環境整備
などを目的に、
国・業界が一体となって推進しているシステムです。
全国約16万の建設事業者、約85万人の職人
さんにご登録いただいています。(2022年3月末現在)
詳しくは業界ページ

【求職者向けリーフレット】

建設業界への就職を希望される皆さま
UP CCUS
建設業界が変わる!
新3K に向け、官民一体で
取り組んでいます!
給与(K) が良い
休暇(K) が取れる
希望(K) が持てる
・賃金改善を推進(160万6000円/年/平均給与アップ)
・職人の給与は前年比で約17%UP(160万6000円/年/平均給与アップ)
・二日休制度などにより、週休2日を確保し
・働き方改革により、労働時間を縮減(42%)
新3Kの実現を支え、人を大切に育てるシステム
建設キャリアアップシステム
(CCUS)
新3Kの実現に向け、約16万の建設事業者、
約85万人の職人さんに登録していただいています。
(2022年3月末現在) 詳しくは業界ページ

○建設業の入職経路におけるハローワークの状況



■ 請負パートナーのマッチングサイト：助太刀との連携

2021.6よりCCUS登録済み助太刀ユーザーに対して
CCUSバッジ表示連携を開始し継続

2022.5までの1年間で、
375名を連携表示



CCUS登録者であることをアピール

プロフィール画面 閲覧回数比較

連携前

4.9回

連携後

11.2回

*1週間あたりの閲覧回数

バッジ表示連携利用者の声：

(ユーザーA)

自社が受注者を探す際にCCUS登録は必須とはしていないが、助太刀のようなマッチングサービスで職人と知り合う際にその職人の「信用度」は凄く重要視している。

CCUS登録をしているとなれば、その職人に対する信用度は格段に上がるので助太刀ユーザーの中でCCUS登録者は増えて欲しい。

(ユーザーB)

職人(技能者)のCCUSバッジ表示機能と同様に**法人(事業者)ユーザーでもバッジ表示を付けられるようにして欲しい**

※複数の事業者より同様の要望あり

(ユーザーC)

最近、CCUS登録していないと入れない現場もあるので、**CCUS登録者を優先的に探したい**。

(ユーザーD)

CCUS登録しているような意識の高い相手先であれば、スキルも一定ありそうなので**初めての取引でも安心**できる。

2022年～直近の傾向：

バッジ表示連携申請・登録数

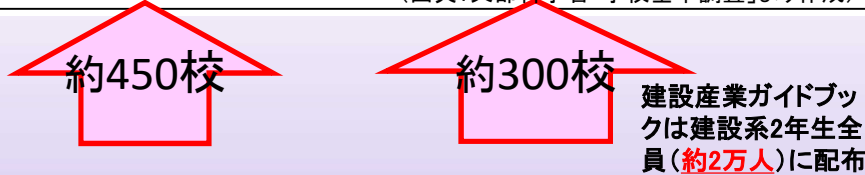
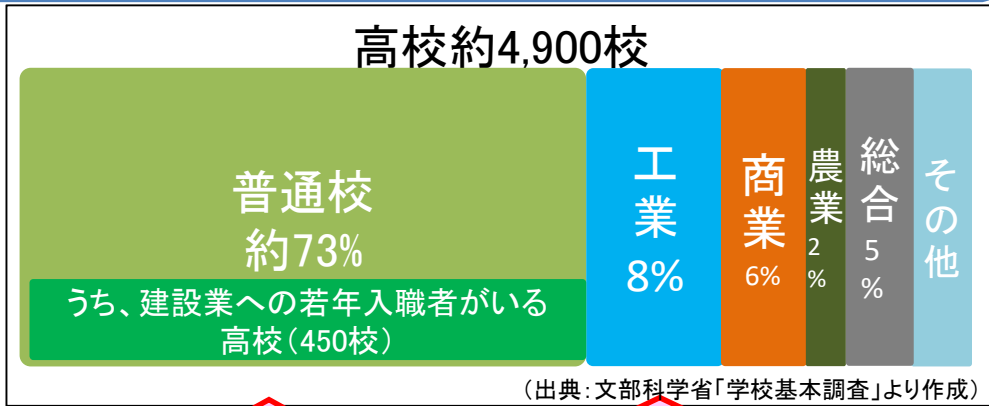


- バッジ表示連携の申請数が最近増加傾向にある一方、申請内容不備で却下される数も増えている。
- 発注者側のヒアリングの際に、「CCUSバッジ連携している受注者と繋がりたい」との要望が増えてきている。
- 左記コメントは、大手ゼネコンやハウスメーカーの仕事をメインで行なっている工事会社のものが多い。

2021年1月より、教育現場におけるCCUSの理解を高めるため、高校、教育委員会に対して、定期的にCCUSに関する情報提供を実施。生徒向けの動画も提供。

①学校へのプッシュ型広報の展開 (建設産業人材確保育成・推進協議会との連携)

- 建設産業人材確保・育成推進協議会では、2021年1月より毎学期(年3回)、建設業の魅力や最新情報を伝える情報資料集「**人材協定期便**」(A4判約20頁)を、全国の工業高校(建設系約300校)、建設業への若年入職者がいる普通科高校約450校、都道府県・政令市の教育委員会及び教職員に配布。
- この「人材協定期便」において、生徒向けのCCUS制度紹介チラシを同封するなど、**毎回、CCUSを周知**。
- あわせて、同協議会が毎年、建設系学科で学ぶ2年生全員(約2万人)に配布する「**建設産業ガイドブック**」においても**CCUSを紹介**。



人材協定期便
建設産業ガイドブック

約750校、約2万人に定期的にCCUSを周知

②高校生向けCCUS紹介アニメーション

- 工業高校生を主人公とする親しみやすいCCUS紹介動画(約8分)を製作し、**学校に配布**。YouTubeのCCUSチャンネルにおいても公表。

③その他の教育現場へのCCUSの周知

- 工業高校校長会(土木、建築)における周知
- 高校で行われる建設業経理検定(3級・4級)特別研修における周知 等

イメージアニメCCUSを知っていますか
YouTube

工業高校在校生の皆さん!
U-P CCUS
建設キャリアアップシステム Construction Career Up System
を知っていますか?

建設キャリアアップシステム
U-P CCUS
建設系2年生全員
2021年1月1日
から開始